

教育文化

小中学生を対象にタブレット端末を活用した授業改善としてプログラミング教育に取り組み、アクティブラーニング(能動的な学習)による児童・生徒主体の授業を展開しています。

【その他、主な報告】

- 「古河塾」で基礎的・基本的な学力の向上や学習習慣の定着を図り、学習意欲を高める指導法を習得する古河塾サポーター研修会を開催
- 中央運動公園体育館サブアリーナ設計業務

健康福祉

就学前の児童に健全な遊びや体験、交流の場を提供するため、駅前子育て広場にプレイルームなどを整備しています。また、子育て拠点施設の整備として、古河赤十字病院跡地へ老朽化した上辺見保育所の移転・建て替えのための基本設計を進めます。

【その他、主な報告】

- ひとり親世帯の児童クラブ負担金、小学校給食費の無償化(対象制限あり。9月から実施)
- 4月から男性不妊治療の助成拡大

生活環境

利根川・渡良瀬川沿いに防災行政無線を15基増設するとともに、放送内容の聞き逃し対応として、流れた情報を無料で聞くことができる電話自動応答装置のサービスを、6月1日から開始しました。

【その他、主な報告】

- 市内3地区の指定避難所に備蓄倉庫を設置
- 防犯対策として防犯カメラ30基と防犯灯66基を設置。既存の防犯灯を順次LEDに交換

コミュニティ・行政

窓口業務のワンストップ化を推進するため、市民総合窓口課を配置しました。また、市民サービスの向上のため、総和庁舎で5月12日から毎週木曜日、午後7時まで一部窓口業務の時間延長を開始しました。

【その他、主な報告】

- 市民が主体となった住民自治の推進に向けて、行政自治組織の活性化を図るため、自治会長・行政区長に委嘱状を交付(4月19日)



▲まちなかの賑わいを創出する「古河ほこてんマルシェ」の開催

- タウンミーティングの開催(7月～8月、20会場)
- 熊本地震の支援として、ふるさと納税制度を活用した災害支援寄附の受付を開始

産業労働

定住促進策としてスタートした「若者・子育て世帯定住促進奨励事業」をさらに拡充し、最大150万円の奨励金を交付します。昨年度は353件の転入相談があり、149世帯(転入者延べ446人)に対し6,770万円を交付しました。

昨年度の住宅着工件数は県西地区首位で、栃木県第2の都市である小山市を上回る1,393件となっています。引き続き定住促進に努めます。

【その他、主な報告】

- 5月8日、「古河ほこてんマルシェ」開催(約3,000人の来場)

都市基盤

4月1日から市内循環バス(ぐるりん号)は、障害者手帳所持者および同乗する介助者1人の運賃を無料にしました。また、地域交通の活性化を図るため新規にバス2台を購入し、JR古河駅東口を起点とした新たなコースで運行します。

圏央道境古河IC開通に伴う市内への企業立地促進を図るため、仁連地区における新産業用地の開発を進めます。

市民の利便性と安全性の向上を図るため、地域要望による生活道路の拡幅改良工事および新設改良工事を実施します。

【その他、主な報告】

- 古河公方公園くぼうに幼児が遊べる水場を整備
- 平成30年度までの3カ年で「都市計画マスタープラン」を見直すとともに、「古河市立地適正化計画」を策定